

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉援助演習Ⅲ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 4学年2学期		必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉を必要とするものの状況や困難について把握し、ソーシャルワークの展開を行うことができるようになる。 ・関係諸機関・専門職の役割を理解し、チームアプローチ、チーム運営を行えるようになる。 ・諸制度・サービスとその利用について理解し、援助に活用できる。 ・具体的な場面に対して、精神保健福祉士の基本的原理に基づき実践的に考察できるようになる。 ・精神保健福祉に課題のある人々の社会的排除を除去し、共生社会を実現する精神保健福祉士としての役割を果たす専門職としてのアイデンティティを確立する。 					
【授業計画】 <ol style="list-style-type: none"> 1 児童虐待における包括的援助の実践的習得 2 依存症における包括的援助の実践的習得 3 リワークにおける包括的援助の実践的習得 4 貧困・低所得等における包括的援助の実践的習得 5 災害被災者支援における包括的援助の実践的習得 6 触法障害者における包括的援助の実践的習得 7 行政機関(精神保健福祉センター、社会福祉協議会等)における包括的援助の実践的習得 8 高齢者福祉(認知症等)における包括的援助の実践的習得 9 教育機関における包括的援助の実践的習得 10 精神保健福祉士の活動内容と原理の結びつけ 11 精神保健福祉士の活動内容と理論の結びつけ 12 精神保健福祉士の活動内容と倫理の結びつけ 13 精神保健福祉における社会的排除の現状についての発見・収集・調査 14 精神保健福祉における社会的排除の現状についての分析 15 精神保健福祉における社会的排除の除去に対する方法の検討 					
【使用テキスト・参考文献】 別途指定			【単位認定の方法及び基準】 事例・ロールプレイ・課題作成による評価(50%)、演習に取り組む姿勢(個人・集団)・成熟度による評価(50%)を総合して評価する。		